

二〇一三年 十二月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

×より○がよく見える「心の目」を大切に

東井義雄

人の悪いところや欠点はよく見え、人の良いところや親切にはなかなか気が付かないことがよくあるように思います。また、一方的な先入観で人を見てしまっていることもよくあるのではないのでしょうか。問題は自分自身の物差しで人を決めつけて、良いところを見ようとしないうちにも知れませんか。この「今月の言葉」から、「×」より「○」を見ようとするこの大切さを改めて教えられる気がします。

教室の中やクラブ活動で「×」が気になる人がいれば、一度その人の「○」を探してみてください。探そうとすることで新たな発見があるかも知れませんか。

今月の聖語

後になって悔いもなく よろこびがみちてくるような

そんな行為が よい行為といわれよう

『法句経』

今年も残すところあと一カ月となりました。みなさんにとって今年一年はどのような年だったのでしょうか。学習面やクラブ活動等それぞれの目標に向けて、満足のいく一年だったのでしょうか。

さて、「今月の聖語」で釈尊が述べるように、後になって喜びが満ちてくるような行為が出来ていたか自分自身を振り返ってみてください。上手くいったこと、失敗したこと、様々がこの一年間にもあったことだと思います。その中で、結果はもちろんだ事ですが、目標に向かう過程で本気で努力したこと、全力で取り組んだことは、後になって充実感や喜びとして表れてくるはずですよ。

あと一カ月で新しい年を迎えます。今年の自分自身の姿をじっくりと振り返って、新たな気持ちで新年を迎えたいですね。最後になりましたが、今月は釈尊の成道を祝う成道会が執り行われます。釈尊の教えに耳を傾け、心静かにお参りしましょう。